

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和 3 年度期末）

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・ 防災をテーマにしたイベントを行うことにより、若い世代等の幅広い世代へのアプローチを行った。 ・ 各地域の情報や地域活動についての情報を掲載した地域ノートを更新し、各地域に配布した。 ・ 地元企業と複数地域が参加するイベントを行うなど、多様な主体との連携の促進を行った。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の支援状況（実績）及び効果等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・ まちセン通信の発行や facebook の活用、公式 LINE アカウント運用等、積極的に情報を発信していた。 ・ アドバイザー、支援員、専門的知識を持つスーパーバイザーによる支援体制が整っていた。 ・ 支援員を地域担当制にすることで地域との関係を築き、地域特性に応じた支援を行った。 ・ 本部や受託している他区まちセンと情報交換し、効果的な支援を行った。 ・ 市民協働課、地域担当職員、福祉担当などと情報共有を行い、事業を進めた。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
B	・ facebook や LINE を活用して情報発信を行った。 ・ 各地域の情報誌やまちセン通信など区役所 1 階情報コーナーに配架した。また、転入による来庁者の多い 3 月中旬から 4 月中旬にかけて、各地域の広報の展示会を行った。 ・ 地域に対してオンライン会議開催の支援を行い、開催に至った。 ・ 多様な団体が参加できるイベントを行い、連携を図った。 ・ 今後も SNS を活用した広報活動などの取組が必要となるため、よりきめ細かな支援が必要となる。今後も、組織が持っている専門的なノウハウを生かして、継続した支援を期待する。

4 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

(1) アンケート調査

(2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組

「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

(3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	・ 「地域活動協議会が、地域の実情やニーズに即した支援が実施されていると思う割合」は約 86%と、昨年の 84%より 2%上昇した。 ・ 自律度について、昨年度より上昇した地域が 7 つ、下降した地域が 3 つ、現状維持が 8 つであった。下降した地域については、担当者が変わり、引継ぎ過程によるものであるため、引き続き支援を進められたい。

5 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	・防災をテーマにしたイベントのように、若い世代等へのアプローチとなる取組を引き続き取り組まれない。 ・SNS を活用したさらなる広報の支援を行い、地域活動に関心をもってもらえるよう、引き続きの取り組みを期待する。 ・コロナ禍におけるオンライン会議開催支援や他区での取組事例紹介等、大阪市コミュニティ協会の専門性やスケールメリットを活かしつつ、地域実情に応じたさらなる支援を期待する。 ・多様な主体との連携・協働につながるイベントなどの取り組みを引き続きお願いしたい。 ・自律度については年々着実に上昇しており、特に基本の部分は高い水準にあるので、引き続き各地域事情に応じたきめ細やかな支援の継続を期待する。

(評価基準)

S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。

A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。

B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。

C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。